

名駅南地区

まちづくり

ビジョン



平成30年12月

名駅南地区まちづくり協議会

MEIEKI SOUTHERN CROSS

はじめに

リニア開業を見据え、名古屋駅周辺で様々なまちづくりの動きが活発化する中、名駅南地区の持続可能な発展を目指し、まちづくりを推進することを目的に、平成 28 年 7 月に地区内の地権者法人を中心に「名駅南地区まちづくり協議会」を設立いたしました。

当協議会は、平成 30 年 12 月現在、正会員 16 社、特別会員 1 団体、賛助会員 17 社、オブザーバー 4 団体で構成されています。

当協議会では、設立以降より会員間で議論を重ねながら、名駅南地区をより良いまちに育てていくための共通目標として「名駅南地区まちづくりビジョン」の策定に取り組んでまいりました。

本ビジョンでは、まちの将来像を「みんなの希望がかなうまち キラリ輝くメイエキサザンクロス」と掲げ、まちづくりの方針、目指すべきゾーン・通りのイメージ等を取りまとめています。

少しでも多くの方々と本ビジョンが共有できれば幸いです。本ビジョンが実現し、名駅南地区が皆様の希望を叶える道標（メイエキサザンクロス）となることを心より願っております。



2018 年 12 月
名駅南地区
まちづくり協議会
会長 近藤 多喜男



みんなの希望がかなうまち キラリ輝くメイエキサザンクロス

名駅南
(メイエキ・サザン)

ひと・まち・文化が
交流(クロス)するまち

南十字星(サザンクロス)
のように光り輝く道しるべ

メイエキ
サザン
クロス

目次

- 1 まちづくりビジョンとは
- 3 名駅南地区の歴史と現状
- 12 まちの将来像
- 13 まちづくりの方針
- 19 まちづくりビジョンの推進にあたって
- 21 資料編

まちづくりビジョンとは

名駅南地区を住みやすく、働きやすく、訪れやすいまちとしてエリアの価値を向上させるためには、当協議会のみならず様々な方との連携のもと、地区全体が一丸となってまちづくりに取り組んでいくことが重要です。そのため、共通目標となるまちの将来像として、『名駅南地区まちづくりビジョン』を策定しました。

目標年次

リニア中央新幹線が開業する

概ね **2027年**

をビジョンの目標年とします。

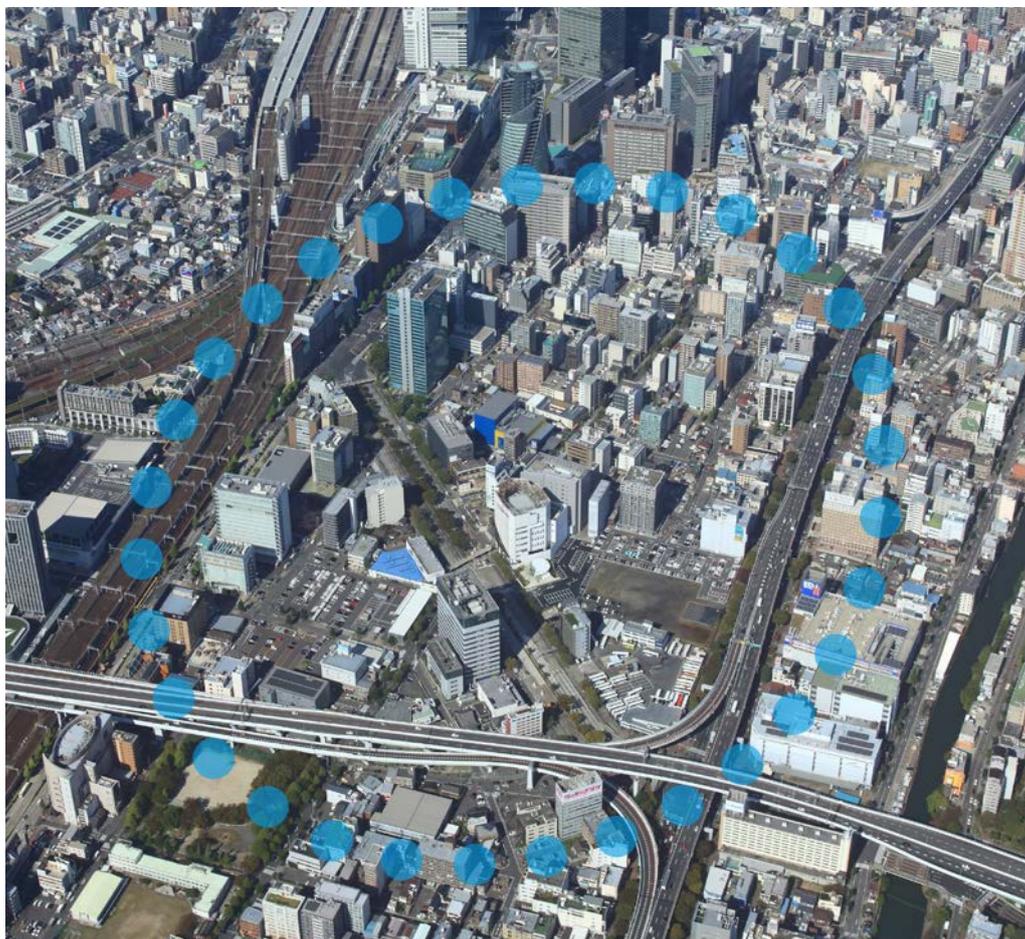
ビジョンの役割

まちづくりビジョンをもとに、

- 地区の関係者の連携・協力
- まちづくり意識の醸成
- まちづくり活動の活性化
- 地区内の開発の誘導・調整
- 地区外への魅力発信

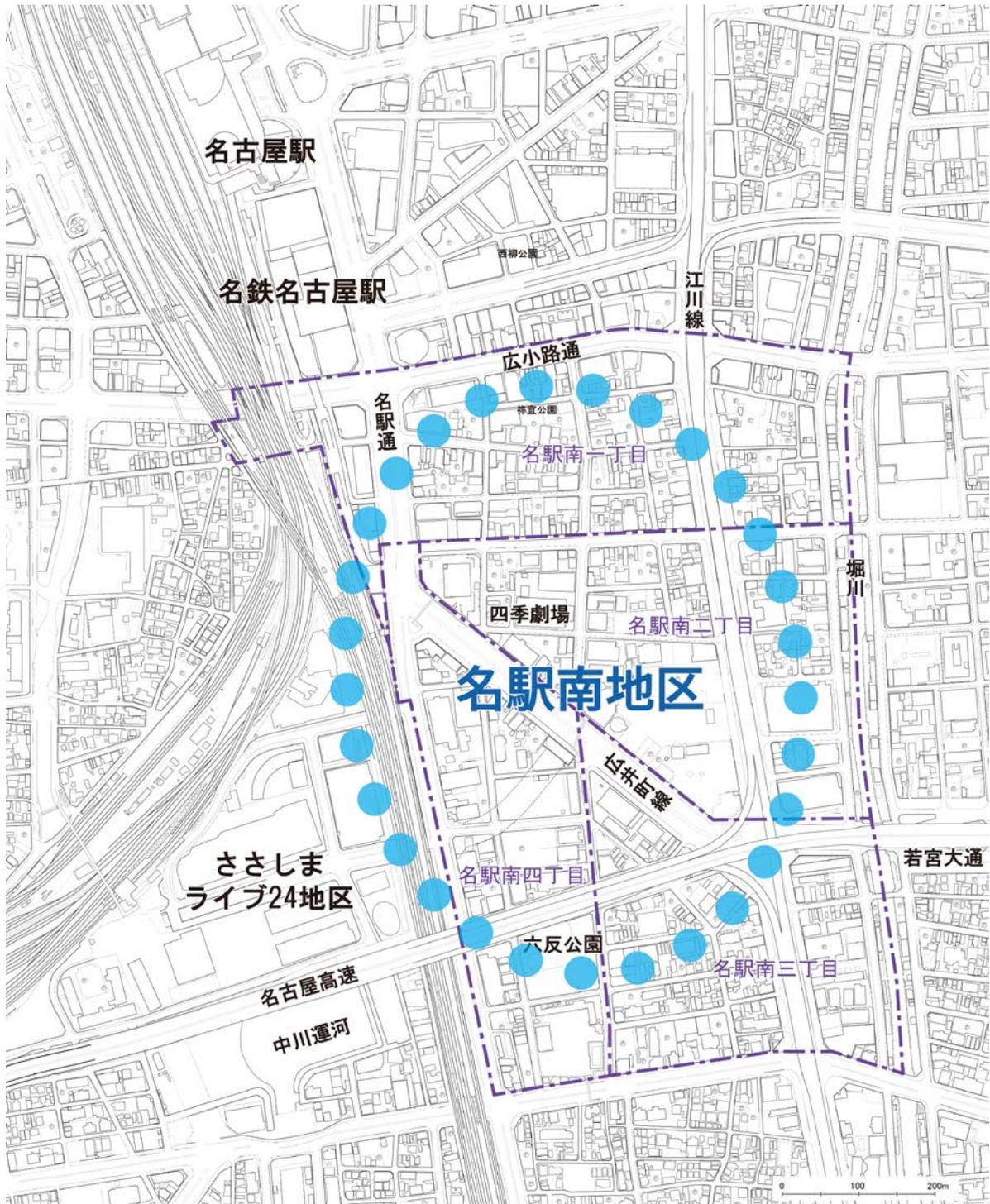
などを図っていきます。

概ねの対象範囲



(H29.10.26 撮影)

名駅南地区まちづくり協議会の概ねの対象範囲は、主に名駅南一丁目・二丁目・三丁目・四丁目で構成されるエリアとしています。学区は旧六反学区に属しています。



(下図：H29 名古屋市都市計画基本図)

名駅南地区の歴史と現状

名駅南地区の歴史

江戸以前の名駅南地区は、広井町線より北は名古屋城の西の玄関口となる柳街道が通り、古くからまちが形成されていましたが、広井町線より南は水田や蓮池が点在する湿地帯でした。

明治に入り、東海道線の開通に伴い、現在の笹島交差点付近に名古屋停車場（笹島駅）が設置され、まちはさらに発展しました。昭和 12 年には、現在の位置に名古屋駅が移設・開業し、笹島駅は貨物専用駅となりましたが、名駅南地区は堀川や中川運河とも近接性していたため、水陸両面の利便性を活かし、流通業務地区としての土地利用が進みました。

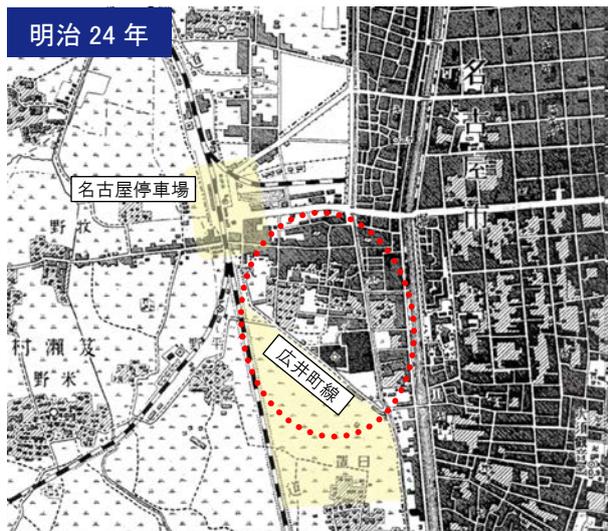
その後、昭和 61 年に笹島駅が廃止されると、流通業務関連から徐々に土地利用が転換されはじめ、近年では 2027 年のリニア中央新幹線の開業を控え、名古屋駅前など周辺の開発の活発化にあわせて、名駅南地区においてもオフィスビルやマンション、文化芸術施設、宿泊施設などの立地がすすみ、土地利用が多様化しつつあります。

しかし一方で、戦災復興土地区画整理事業開始から 70 年以上が経過し、更新時期を迎えている建物も多く、さらに駐車場などの低未利用地も目立つため、地区として土地利用転換が必要な時期を迎えています。

このように地の利を生かし、産業の発展とともにまちが形成されてきた名駅南地区ですが、同時に住民による地域コミュニティも強く根付き、伝統行事をはじめ現在でも活発に地域活動が営まれています。

	年	名駅南地区の出来事
明治	19 (1886)	・名古屋停車場(笹島駅)及び貨物専用駅の設置(現名古屋駅の約 400m南)
	31 (1898)	・全国 2 番目の市内電車が名古屋電気鉄道により広小路(笹島・県庁前間)を運転
	34 (1901)	・名古屋初の跨線橋・明治橋が設置
昭和	7 (1932)	・中川運河全通
	12 (1937)	・国鉄名古屋駅営業開始。現在の名古屋駅に移転し、笹島駅は貨物専用駅となる。名駅南地区は流通業務地区としての土地利用がなされるようになる。
	20 (1945)	・戦災により家屋など焼失
	22 (1947)	・戦災復興土地区画整理事業、仮換地測量開始(昭和 56 年、換地処分完了)
	32 (1957)	・日本通運ビル(昭和 32 年)、日本トランスシティ(昭和 42 年)をはじめとする現在ある流通関連の建物がビルドアップ
	61 (1986)	・笹島貨物駅の廃止
平成	11 (1999)	・「ささしまライブ 24 地区土地区画整理事業」の事業認可
	13~ (2001~)	・新たな土地利用転換が動き出し、オフィス・教育・住居・文化・宿泊施設など立地し、徐々に用途が広がりつつある。 オンワード樺山名古屋支店(H13)、中日美容専門学校(H14)、名古屋三井ビル新館(H23)、名古屋四季劇場(H28)、LIXIL ショールーム名古屋(H28)、東横イン名古屋名駅南(H30)等
	29 (2017)	・ささしまライブ 24 地区まちびらき
	30 (2018)	・椿町線・笹島線開通 ・クリエイティブラウンジ「クリぱこ」開設

名駅南地区の変遷



明治 24 年

名古屋停車場

広井町線

- ・名古屋停車場（笹島駅）設置（明治 19 年）
- ・広井町線以南は湿地帯



大正 9 年

市内電車

- ・市内電車開通（明治 31 年）
- ・広井町線以南に市街地形成



昭和 13 年

名古屋駅

笹島駅

中川運河

- ・中川運河全通（昭和 7 年）
- ・名古屋駅移設、笹島駅が貨物専用駅に（昭和 12 年）



昭和 22 年

- ・戦災により家屋など焼失
- ・戦災復興土地区画整理事業開始（昭和 22 年）



昭和 43 年

- ・流通関連の建物がビルドアップ



平成 8 年

ささしまライブ 24

- ・笹島貨物駅廃止（昭和 61 年）
- ・ささしまライブ 24 地区土地区画整理事業認可（平成 11 年）

（資料：国土地理院発行 2 万分 1、2 万 5 千分 1 地形図をもとに加工）

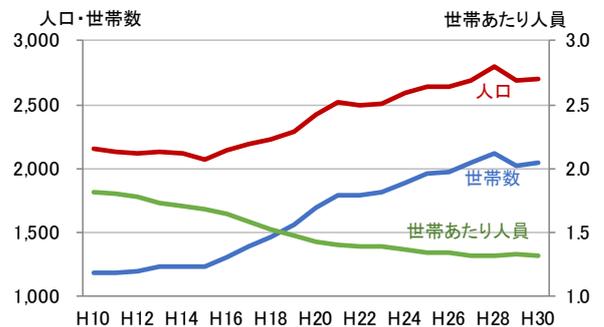
名駅南地区の人口

名駅南地区では、近年、人口・世帯数ともに急増しており、平成30年には人口2,700人、2,050世帯となっています※。中でも、単身世帯の増加が進み、20歳代から30歳代の若い世代の居住が目立つ反面、子どものいるファミリー世帯等が少ない状況です。名古屋駅に最も近い名駅南一丁目では単身者向け賃貸マンションの立地が進み、人口が特に増えています。

名駅南地区では、若い単身世帯を中心に、急速な勢いで都心居住が進んでいますが、世帯構成に偏りがあり、昔からの居住世帯が減ってきていることがうかがえます。

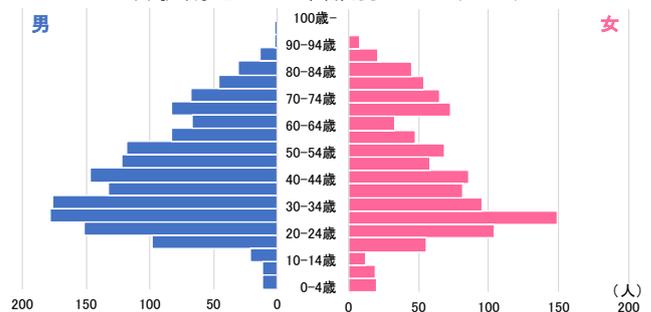
(※実際の人口・世帯数は、住民票を移していない居住者を含めると公簿人口よりも多いと思われます。)

名駅南地区の人口・世帯数の推移



(資料：公簿人口、毎年10月1日時点、名駅南一丁目～四丁目の合計)

名駅南地区の年齢別人口 (H27)



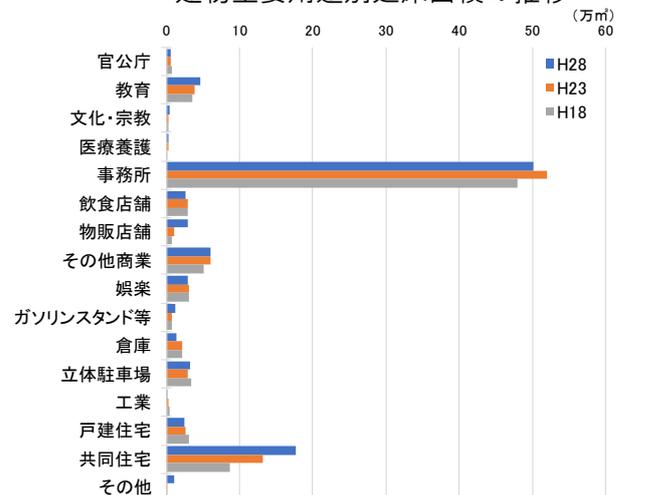
(資料：国勢調査、名駅南一丁目～四丁目の合計)

名駅南地区の土地・建物

名駅南地区の建物利用は、かつての流通業務地区としての倉庫が減少する一方、事務所が大半を占め、ビジネス機能が高度集積する名古屋駅前的一端として、オフィス中心のまちに変わりつつあります。また、共同住宅が大きく増加し、都心居住も進んでいます。しかし、就業者や居住者を支える商業施設は都心部平均(約18%)よりも少ない状況です。

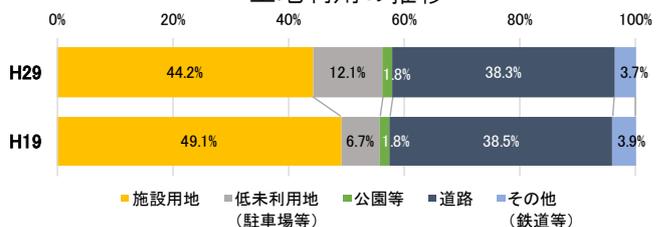
また、土地利用は都心にありながら、駐車場などの低未利用地が地区全体の約12%と都心部平均(約9%)より高く、この10年間で2倍近くに大きく増加しました。同時に建物の使用容積率も指定を下回る街区が多く、土地の有効利用・高度利用が十分に図られていません。一方で、道路率は約38%と、都心部平均(約32%)と比べて高い水準にあり、道路空間の活用も課題と言えます。

建物主要用途別延床面積の推移



(資料：名古屋市都市計画基礎調査、名駅南一丁目～四丁目の合計)

土地利用の推移

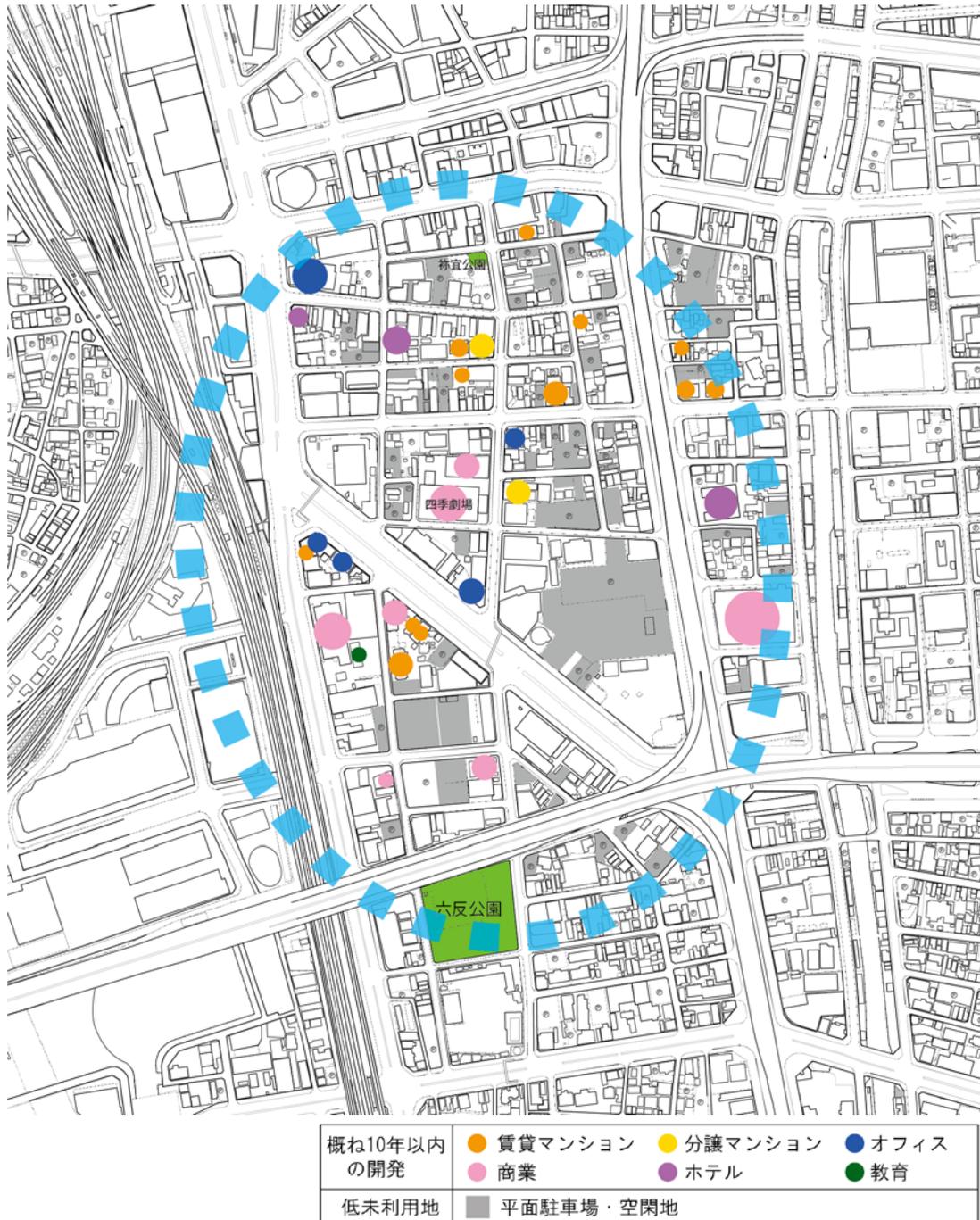


(資料：名古屋市都市計画基礎調査、名駅南一丁目～四丁目の合計)

名駅南地区の開発動向

名駅南地区では、近年、様々な開発の動きが見られ、最近 10 年間では賃貸マンションやオフィスビル、商業施設を中心に開発が進んでいます。中でも特徴的なものは、平成 28 年の四季劇場の開館で、これまでにはなかった文化芸術の拠点として新たな人の流れを呼び込み、まちに変化を生み出しています。

近年の開発動向



(平成 30 年 12 月時点、下図：H29 名古屋市都市計画基本図)

名駅南地区の地域資源

名駅南地区は、古くから形成されてきたまちであるため、史跡や社寺、山車祭りなどの歴史的資源に恵まれています。同時に、堀川や中川運河などの水辺に近接するとともに、幹線道路の立派な並木、六反公園などの都市公園もあります。これらは地区の貴重な資源であり、その魅力を活かしたまちづくりを進めていくことができます。



柳里神社



祢宜公園



納屋橋



花車神社例大祭(唐子車)



明治橋跨線橋跡



並木 (広井町線)



明治40年頃の名古屋駅(銘板)



白龍神社



堀川



愛知医学学校跡



中川運河 (船溜まり)



三四郎碑



六反公園



津島社

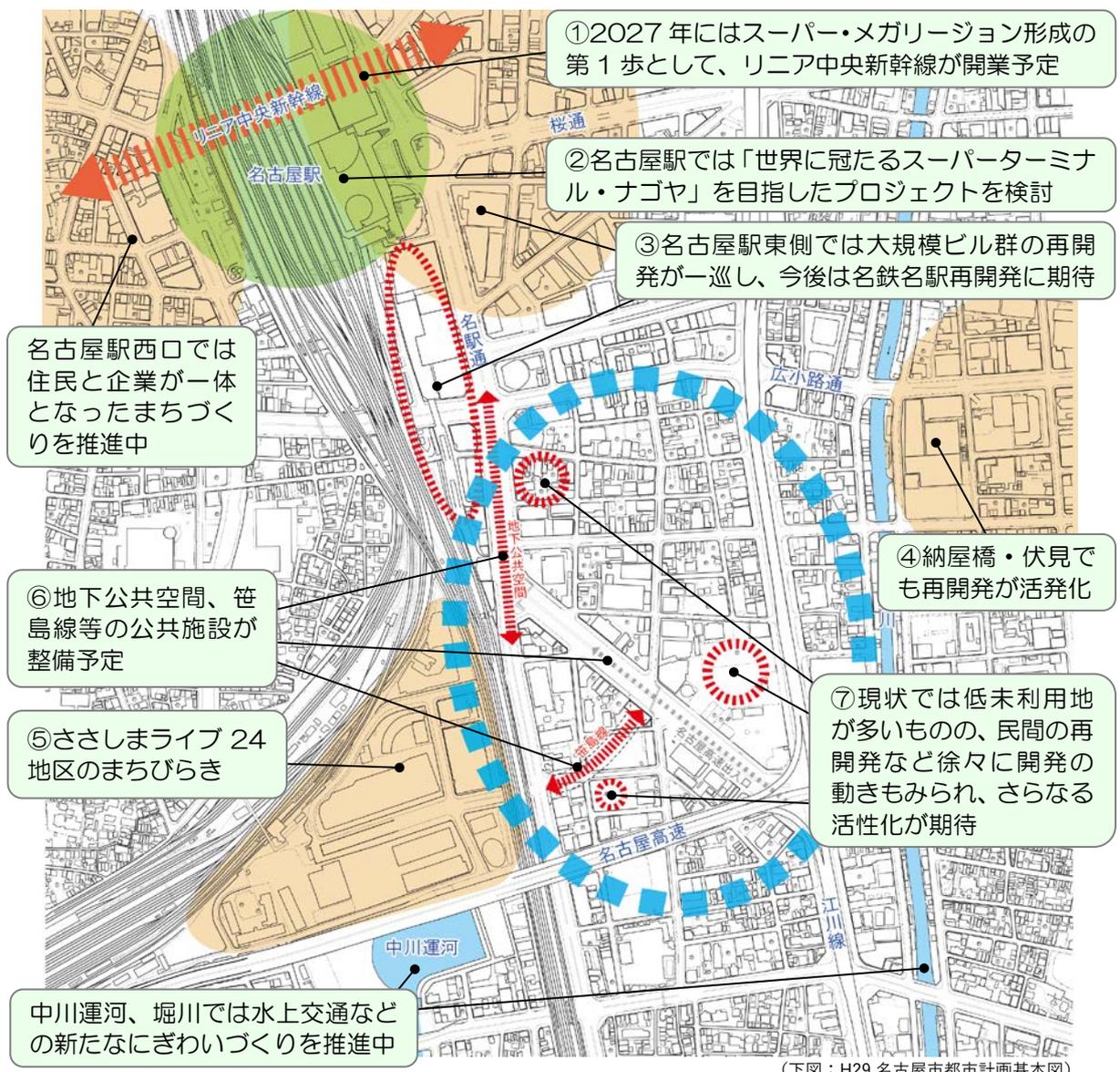
(下図：H29 名古屋市都市計画基本図)

名駅南地区と周辺のまちづくり

名駅南地区の周辺では、近年、様々なまちづくりの動きが活発化しています。

名古屋駅では 2027 年のリニア中央新幹線の開業(①)に向けて、駅の大改造が進められる(②)とともに、駅東側では大規模な再開発により高層のオフィスビル群が完成し、今後は名鉄名古屋駅の再開発に期待が寄せられています(③)。納屋橋・伏見地区でも再開発が竣工し、賑わいを増しつつあります(④)。ささしまライブ 24 地区でも土地区画整理事業が進み、まちびらきを迎えました(⑤)。また、各地区でまちづくり協議会などソフトの取り組みも活発化しています。

名駅南地区では、これら周辺の動きと連動したまちづくりが期待される中、様々な開発が控えています。公共施設では名古屋駅とささしまライブ 24 地区を結ぶ地下公共空間や都市計画道路笹島線、名古屋高速出入口の整備が計画され(⑥)、民間でも大規模な再開発等が計画されています(⑦)。開発に伴い、まちの更新に期待が持たれますが、道路による街の分断や個々別々に進む開発の調整など様々な課題が生じることも懸念されます。



(下図：H29 名古屋市都市計画基本図)

名駅南地区の魅力とポテンシャル

これまでの現状特性を踏まえると、名駅南地区には次のような魅力やポテンシャルがあります。

立地

■名古屋駅に近接し、都心の利便性を享受できる

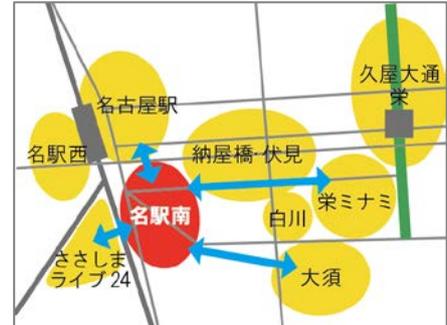
- ・多様な業種の立地が可能
- ・都心居住のポテンシャルが高い
- ・開発ポテンシャルが高い

つながり

■名古屋駅地区、ささしまライブ24、納屋橋・伏見、白川、栄ミナミ、大須など特徴的な地区とつながる

- ・多様な地区と隣接するなど、アクセスしやすい

周辺地区とつながる名駅南



ネットワーク

■道路ネットワークが充実し、広域からの自動車アクセスが便利

- ・名駅通、広小路通、江川線、広井町線、若宮大通などの広域的な幹線道路に接続
- ・名古屋高速道路にも近接

水辺

■中川運河や堀川など都心の貴重な水辺に近接

- ・中川運河では水上交通で名古屋港へアクセス可能
- ・堀川における水辺の賑わい創出や水上交通の活性化



堀川

中川運河

コミュニティ

■地域コミュニティによる活動や行事がしっかり続く

- ・町内会や六反学区連絡協議会の活動、伝統的なお祭り（花車神明社例大祭など）
- ・六反公園、コミュニティセンター等の拠点施設



唐子車



六反公園



白龍神社

クリエイティブ

■文化・芸術施設やクリエイティブ施設など特徴的な施設が立地

- ・四季劇場、クリばこなどが新たに立地



四季劇場



クリエイティブラウンジ「クリばこ」



「クリばこ」の利用風景

名駅南地区の課題と改善点

一方で、次のような課題や改善点もみられます。

土地利用

■ 駐車場などの低未利用地・公共用地の有効活用

■ 個々別々に進む開発の調整

- ・ 駐車場などの低未利用地が多い
- ・ 土地利用転換が求められる公有地
- ・ 開発が個々別々に進み、都市機能や街並みなどの調整が課題



低未利用地

都市機能

■ 生活便利施設、娯楽施設、公園・広場など不足する都市機能の充実

- ・ スーパーや医院などの生活便利施設、就業後に立ち寄れる娯楽施設、公園や広場などが乏しい
- ・ 貴重な公園である祢宜公園が十分に活用されていない



祢宜公園

にぎわい

■ 商業施設が名古屋駅寄りに偏っており、地区全体での賑わいの創出

- ・ 商業施設が名古屋駅寄り（地区の北側）に偏っており、南側には物販・飲食店等が乏しい
- ・ 賑わいを生む集客施設が乏しい



祢宜町下笹島線

安全・安心

■ 浸水被害対策や地震時の滞留空間確保など防災面の備え

■ 夜の安全などの防犯対策

- ・ 地震時の避難場所などの滞留空間が不足している
- ・ 豪雨など浸水被害が想定されている
- ・ 歩道が暗く、夜歩くのが危ない

交通

■ 地区内外における歩行者ネットワークの形成

■ 公共交通の利便性の向上

- ・ 名古屋駅から歩くと遠く感じる、快適に歩くことができない
- ・ ささしまライブ24、伏見、栄、大須など周辺地区とのつながりが弱い
- ・ 名駅通や広井町線に横断歩道が少なく、まちが分断されている
- ・ 名古屋高速出入口の新設によりまちの分断が強まる恐れがある
- ・ 歩いて楽しいまちの要素に乏しい
- ・ バス以外にアクセスできる公共交通がない
- ・ 笹島線が未整備



名駅通

景観

■ 統一感や特色ある景観形成

- ・ まちの景観に特徴がない
- ・ 地区全体として緑が少ない



名駅南四丁目交差点

コミュニティ

■ 住民の方々や企業を含めた地域内のコミュニティ活動の活性化

- ・ 賃貸マンション等の居住者との交流が希薄
- ・ 高齢化等によりコミュニティ活動の維持が困難

ブランド

■ 地区としての特徴やイメージの明確化

- ・ 地区の特色やイメージがない



路上パーキング

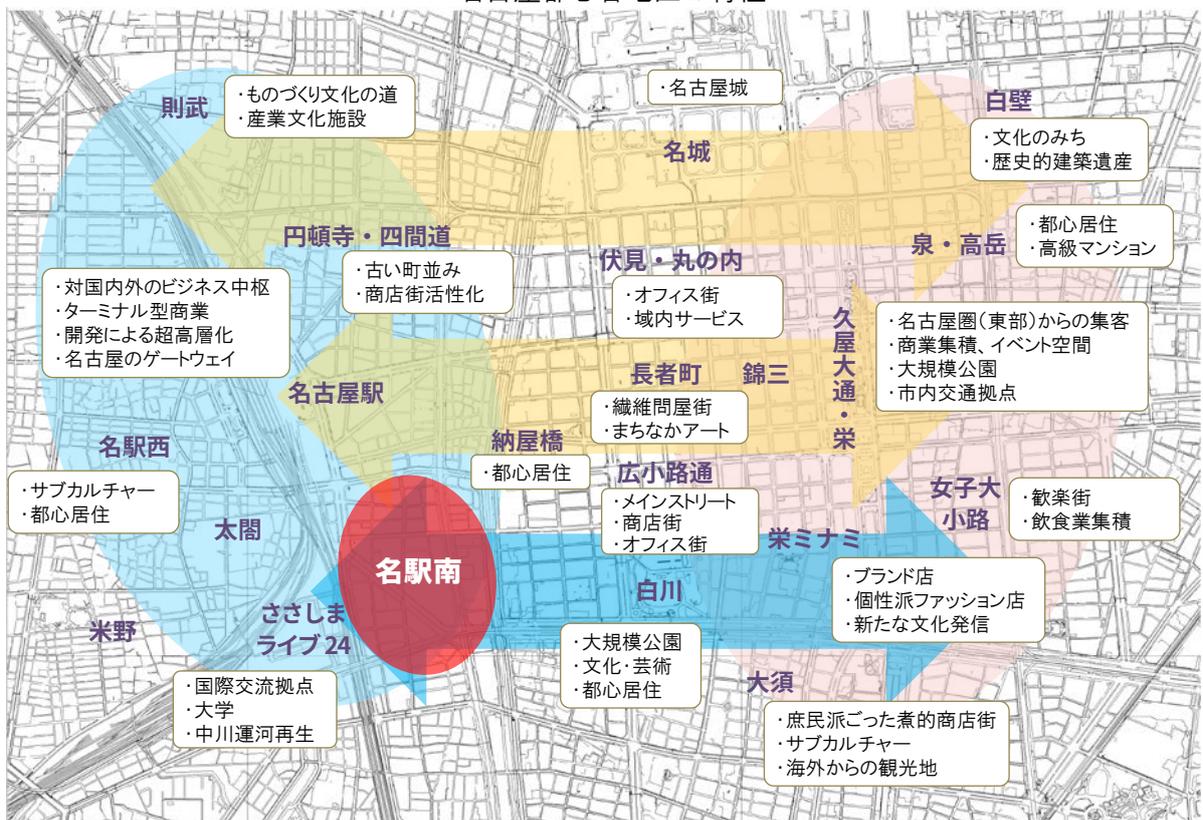
名駅南地区のポジション

名古屋の都心からみると、名駅南地区は、北は国際広域ビジネス拠点である名古屋駅地区、西は国際交流拠点ささしまライブ24地区に接するとともに、東には名古屋の歴史を支えてきた堀川や伏見・納屋橋地区、文化・芸術性の高い白川地区や若者が集う栄ミナミ・大須といった様々な特徴的な地区とつながっています。

特に、東西方向のつながりに目を向けると、文化や交流などの“クリエイティブ(創造性)”をキーワードとした軸が形成されつつあるといえ、こういった都心の軸を意識しながら、特色あるまちづくりを進めていくことが求められています。



名古屋都心各地区の特性



(下図：H29 名古屋市都市計画基本図)

まちの将来像

みんなの希望がかなうまち キラリ輝くメイエキサザンクロス

ひと・まち・文化が交流（クロス）し、南十字星（サザンクロス）のように光り輝くまち（メイエキ サザン クロス）を目指して、地域と協力しながら、4つのまちづくりの方針に沿って、取り組みを進めていきます。

【職・住・コミュニティ】

住みたい 働きたい 憩いたい
心地よいオアシスのまち



【賑わい・活動】

創りたい 楽しみたい
わくわくドキドキ集うまち



名駅南
(メイエキ・サザン)

ひと・まち・文化が
交流(クロス)するまち

南十字星(サザンクロス)
のように光り輝く道しるべ

メイエキ
サザン
クロス

【交通・回遊性】

訪れたい 寄り道したい
ふらりブラブラできるまち



【安心安全・環境・景観】

明るい きれい ほっとしたい
スマイルあふれるやさしいまち





まちづくりの方針

【職・住・コミュニティ】

住みたい 働きたい 憩いたい 心地よいオアシスのまち

- 名古屋駅から近い距離で、ゆとりある空間や四季折々の彩りを感じられるとともに、都心の利便性も兼ね備え、誰もが住みたい、働きたい、憩いたいと思え、多様なライフスタイルを実現できるまち
- 既存コミュニティをはじめ地域や人のつながりを大切にしたコミュニティ豊かで、顔の見えるあたたかいまち

◆ 住みやすい・働きやすい環境づくり

- ・ 多様な世帯が多様に暮らせる居住施設の誘致
- ・ オフィスなど業務系施設の誘致
- ・ 生活や就業に資する利便施設の誘致

◆ 人が憩える空間づくり

- ・ まとまりのあるオープンスペースの創出（広場、公園等）
- ・ ちょっとした休憩施設・滞留空間の創出（セットバック、セットフロント、パークレット、ベンチ、オープンカフェ等）

◆ 花、緑、水による四季を楽しむ彩りづくり

- ・ 緑化と花による彩りの演出（ハンギングバスケット等）
- ・ 豊かな並木の整備（街路樹、桜並木等）
- ・ 堀川、中川運河とのネットワークの形成

◆ 地域のコミュニティ力の向上

- ・ 住民、企業、学校等を巻き込んだ新たなコミュニティづくり
- ・ 既存の地域コミュニティとの連携・協力（地域行事や祭りへの協力等）



©名古屋工業大学 伊藤孝紀研究室

【賑わい・活動】

創りたい 楽しみたい わくわくドキドキ集うまち

- 豊かな都市空間、人材・企業・施設など多様な地域資源を活かして、常に新しい何かを創り出すクリエイティブなまち
- 住む・働くだけでなく、飲食・買い物、文化芸術、スポーツ、エンターテインメント、イベントなど様々な個性的な楽しみにもあふれ、昼夜バランスよく賑わい、多世代が集うアクティブなまち

◆ 魅力的な店舗や拠点・空間づくり

- ・賑わいと特色を生む店舗等の誘致
- ・人が集まり、楽しめる新たな集客拠点の形成（スポーツ・エンターテインメント施設など）
- ・異なる用途が複合した職住遊が一体の空間づくり

◆ クリエイティブな取り組みの推進

- ・文化・芸術を活かした賑わいづくり（四季劇場との連携、アートイベント等）
- ・先進的、クリエイティブな人材や機能の集積と活用

◆ イベントによる賑わいづくり

- ・イベントの開催（マルシェ、歩行者天国、まち歩き等）

◆ 人が集える空間づくり

- ・道路空間の有効活用
- ・イベント空間の創出（広場・サロン等）
- ・六反公園、祢宜公園の地域利用の支援



©ZGF Architects LLP

【交通・回遊性】

訪れたい 寄り道したい ふらりブラブラできるまち

- 国際ターミナルである名古屋駅やささしまライブ24地区など周辺地区との便利なアクセス、利便性の高い多様な交通手段が整い、外から気軽に訪れやすいまち
- 区内には快適で歩きやすい歩行者空間がネットワークされるとともに、通りやエリアごとに多彩な魅力が見つけれ、ふらり寄り道して、ブラブラ回遊したくなるまち

◆ 名古屋駅や周辺地区からのアクセスの向上

- ・ 公共施設整備（地下公共空間、笹島線）との連携（地下接続、セットバック等）
- ・ 主要動線におけるゆとりある歩行者空間の形成（歩道拡幅、路上パーキング撤去等）
- ・ 名古屋駅や周辺地区から名駅南を近く感じる仕掛け（コミュニティサイクル等）
- ・ 公共交通の誘致（新たな路面公共交通システム、柳橋新駅）

◆ 区内の回遊ネットワークの形成

- ・ 快適に歩ける歩行者空間のネットワーク化（歩行者空間・デザインの連続性、案内誘導等）
- ・ 広幅員道路等によるまちの分断の解消（スクランブル交差点等）

◆ 回遊の魅力づくり

- ・ 通りやゾーンの特徴づくり（低層部店舗化、通りの名付け等）
- ・ 地域資源の有効活用（歴史的資源、神社、山車等）



©ZGF Architects LLP

【安心安全・環境・景観】

明るい きれいな ほっとしたい スマイルあふれるやさしいまち

- 夜も明るく、交通事故もなく、犯罪・災害への備えが行き届いた安全なまち
- エコやバリアフリーへの配慮があり、街並みが整い、ゴミがなく、誰もがほっと安心して健康に過ごせる人にやさしく美しいまち

◆ 安心・安全なまちづくり

- ・ 夜も明るい環境づくり
(街路灯設置、ライトアップ等)
- ・ 地域の安全対策 (パトロール、防犯マップ等)
- ・ 歩行者優先、バリアフリーの交通環境づくり

◆ 地域防災の推進

- ・ 帰宅困難者対策
- ・ 避難場所となるオープンスペースの確保
- ・ 地域の防災活動への協力
(訓練、備蓄倉庫、退避施設、情報提供等)

◆ 環境・健康まちづくり

- ・ 美化活動の推進
- ・ 環境への先進的な取り組みの推進
- ・ 健康づくりに資する取り組みの推進

◆ まちの景観形成の推進

- ・ 調和のとれた街並みづくり
- ・ シンボルとなるランドマーク景観の形成



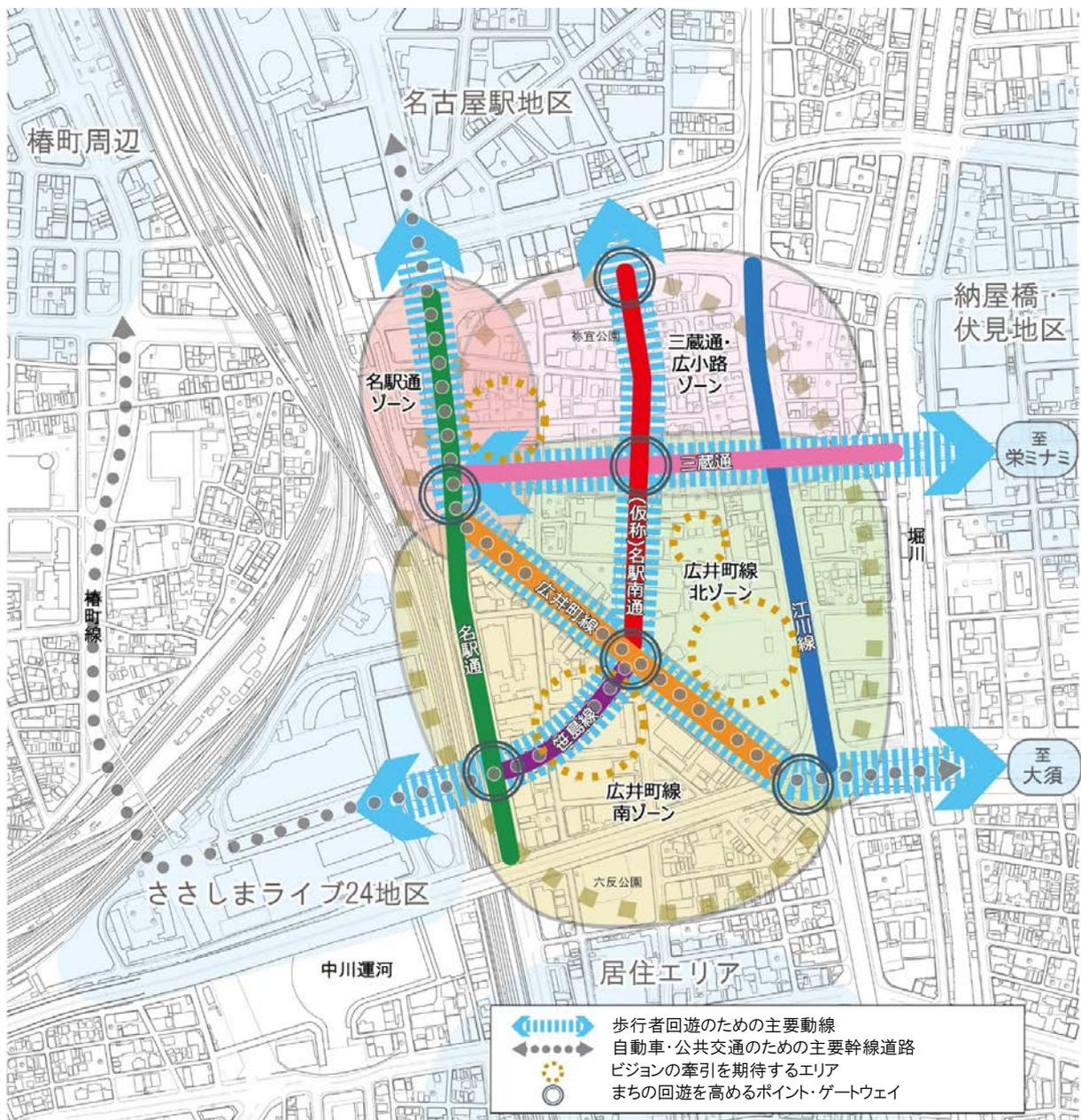
©ZGF Architects LLP

土地利用構想

周辺地区との連続性を意識し、三蔵通、(仮称)名駅南通、笹島線、広井町線を歩行者回遊の主要動線と位置づけ、北は名古屋駅地区、西はささしまライブ24地区、東は栄ミナミや大須地区とのつながりとネットワークを強化するとともに、主要な交差点等はまちの分断解消や地区への入口に相応しい取り組みを進めるポイント、ゲートウェイと位置づけて、人々の面的な回遊を創出します。

また、低未利用地を中心にビジョンを牽引するエリアとして、将来像実現に資する開発等を誘導していきます。

このような全体像を踏まえ、地区内の4つのゾーンと主要な6つの通りについて、より具体的な将来イメージを描き、まちの将来像の具現化を目指します。



(下図：H29 名古屋市都市計画基本図)

ゾーンのイメージ

ゾーン	将来イメージ	キーワード(例)
名駅通ゾーン	名古屋駅と直結するウェルカムゾーン ・名駅南地区の入口として、名古屋駅から来街者を迎え入れ、地区内へ誘導するゾーン	・案内、情報発信等の誘導機能 ・業務・商業機能の高度集積 ・地下接続による名駅通との連携
三蔵通・広小路ゾーン	駅近接性と界限性を活かしたアクティブゾーン ・駅近接性と界限性を活かし、誰もが歩いて楽しみ、様々な都市アクティビティを展開するゾーン	・隠れ家的・個性的な店舗の集積 ・居住者参加のイベント、コミュニティ活動 ・祢宜公園の改修・地域利用の支援 ・ビジネス機能の強化、都心居住
広井町線北ゾーン	新たな魅力で人々をひきつけるアトラクティブゾーン ・低未利用地等の土地利用転換を契機に新しい魅力を創造し、集客効果を高めるゾーン	・文化芸術、スポーツ、エンタメ等の拠点 ・個性的な店舗、チャレンジ可能な施設 ・多様な世帯の多様な都心居住 ・憩いの空間
広井町線南ゾーン	周りとのつながりを活かしたオープン・アドバンスゾーン ・笹島線整備を契機に、誰もが来やすく過しやすいオープンな環境と先進的価値を既存の街と共存しながらつくり出すゾーン	・ささしまライブ 24 地区とつながるビジネス・教育機能 ・広域ネットワークを活かしたサービス機能 ・ふらり立ち寄れる店舗・アメニティ空間 ・六反公園の地域利用の支援

通りのイメージ

通り	将来イメージ	キーワード(例)
(仮称)名駅南通 [祢宜町下笹島線]	わいわいブラブラ歩けるカジュアルな名駅南通 ・名駅地区、広小路通、柳橋とつながる北のメインストリート ・沿道の店舗や有効活用された道路空間により、多様な賑わいがあり、いつでも誰でも歩きたくなる人中心の通り	・店舗、イベントなど多様な賑わい ・緑豊かな並木道 ・セットバック・セットフロント ・歩道拡幅、路上パーキング撤去 ・夜も明るく安全
三蔵通	まちづくりをリードするクリエイティブな三蔵通 ・名駅通から納屋橋、栄までつながるシンボルロード ・チャレンジや魅力を創造・発信することで、いきいきとした人々が集い、歩いて楽しいヒューマンスケールな通り	・アートやクリエイティブを活かしたまち ・通りに顔を向けた建物 ・おしゃれ、こだわりの店舗 ・滞留、憩い空間 ・花と緑による彩り ・夜も明るく安全
広井町線	マルチな利用でまちをつなげる広井町線 ・名古屋駅や若宮大通などの広域ネットワークとつながる公共交通、自動車アクセスの骨格となる道路 ・広い道路空間を活かし、賑わいや憩い、回遊など多様に活用する通り	・新たな路面公共交通 ・緑豊かな並木 ・落ち着いた風格ある街並み ・スクランブル交差点 ・中央分離帯の有効活用 ・イベント、オープンカフェ等
笹島線	新たな魅力で地区をコネクトする笹島線 ・ささしまライブ 24 地区とつながる南のメインストリート ・名駅の東西地区を結ぶ自動車交通の幹線道路 ・若者、ビジネスパーソンなどが歩いて楽しい快適な通り	・快適でゆとりある歩道 ・水と緑を感じられる憩いの場 ・低層部店舗化、目的型施設 ・道路を活用したイベント
名駅通	人々を誘うウェルカムロード名駅通 ・名古屋駅から大勢の人々を地区まで安全・快適に誘う大動脈 ・地区の顔・玄関口にふさわしい風格のある通り	・歩行者と自転車の分離 ・歩道拡幅、セットバック ・地上と地下の歩行者通路 ・統一感ある街並み
江川線	快適でクリーンな江川線 ・広域や周辺地区からアクセスする幹線道路 ・いつもきれいで、緑豊かで明るく、安全に歩ける通り	・緑豊かな街路樹 ・歩行者と自転車の分離 ・ゴミ捨てゼロ、夜も明るい

まちづくりビジョンの推進にあたって

まちづくりへの挑戦

- 協議会主体で、今すぐできる取り組みから行動にうつします。
- 社会実験等により新たな取り組みに挑戦します。
- クリエイティブな発想や取り組み、人材を積極的に取り入れていきます。
- PDCA サイクルを回すことで、取り組みをブラッシュアップしていきます。

取り組み（例）

- ・ハンギングバスケット
- ・イベント開催（まち歩き、マルシェ、歩行者天国、アートイベント等）
- ・道路空間の有効活用（パークレット、ベンチ、オープンカフェ、歩道拡幅等）
- ・六反公園、祢宜公園の地域利用の支援
- ・歴史的資源の有効活用
- ・通りの名付け 等

将来像のデザイン

まちづくりの誘導

- 地区内において、まちづくりビジョンの周知を図り、共通理解を深めていきます。
- 個々別々の開発に対して、まちづくりビジョンへの理解・協力を要望していきます。
- 行政と連携して、まちづくりを誘導するためのルール化を目指します。

取り組み（例）

- ・まちづくりガイドラインの策定
- ・景観デザインコードの作成
- ・地区計画等の各種制度の活用
- ・行政への政策提言
- ・まちの変化に応じたまちづくりビジョンの見直し 等

「みんなの希望がかなうまち キラリ輝くメイエキサザンクロス」を目指し、次の4つの姿勢でビジョンの実現に向けて取り組んでいきます。

多様な主体との連携・協力

- 地区の住民や企業の方々、地域コミュニティと連携・協力しながら、安心・快適なまちづくりなどに取り組んでいきます。
- 名古屋駅周辺、名古屋都心におけるまちづくり団体と連携していきます。
- 全国や他地域のまちづくり団体と連携していきます。
- 行政との連携を図っていきます。

取り組み（例）

- ・ 町内会や学区との情報共有
- ・ 地域行事や祭りへの協力
- ・ パトロールなどの防犯活動
- ・ 避難訓練、備蓄などの防災活動
- ・ 美化活動
- ・ 周辺まちづくり団体との交流
- ・ 行政施策への提案・要望
- ・ 行政との情報共有 等

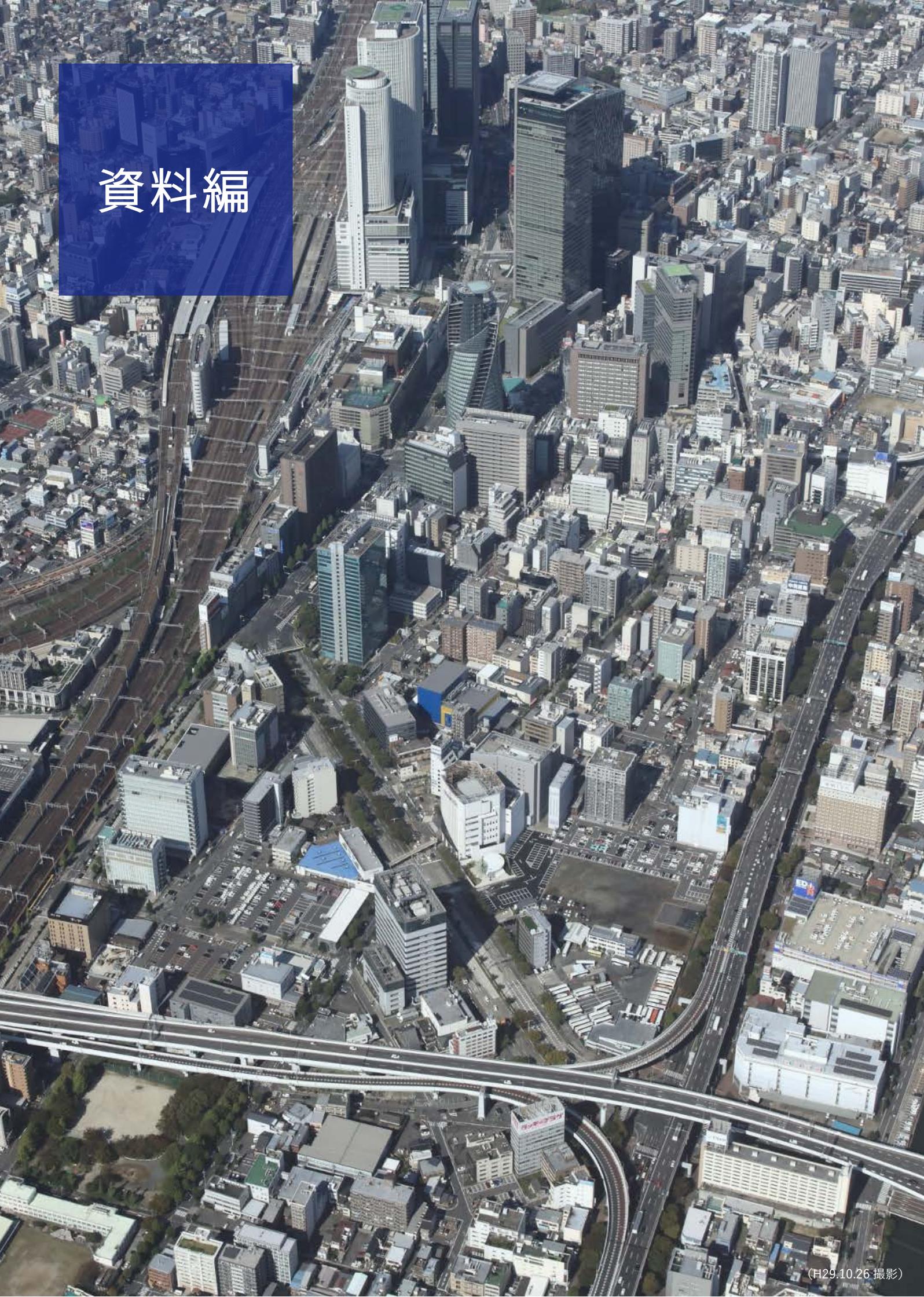
実現するまち

体制づくり・情報発信

- まちづくりに取り組む人材の発掘・育成に取り組めます。
- 協議会会員の拡充を図るとともに、まちづくり財源の確保について検討していきます。
- 協議会活動、地区の魅力やまちづくりに関する情報を広く発信していきます。
- 地区の魅力を見つけて磨くとともに、地区をブランディングし、広く発信していきます。

取り組み（例）

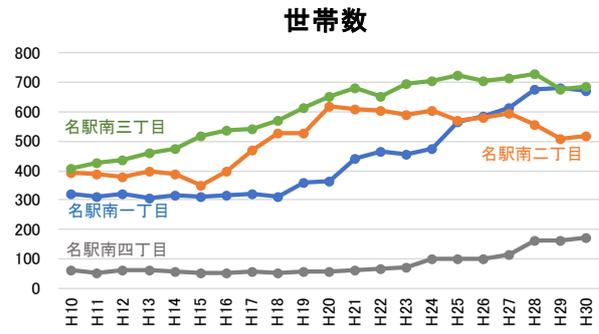
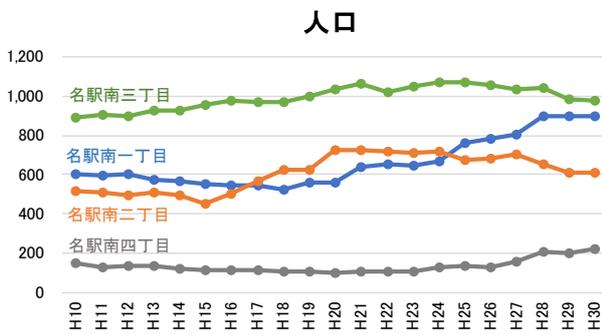
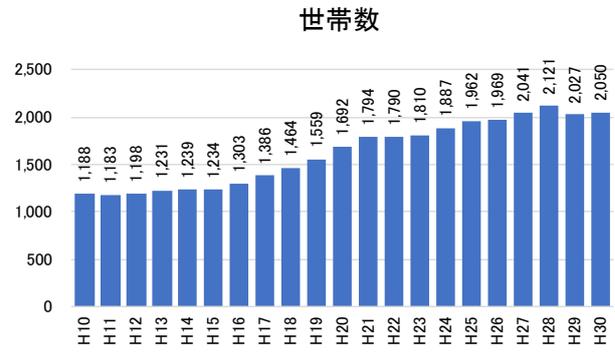
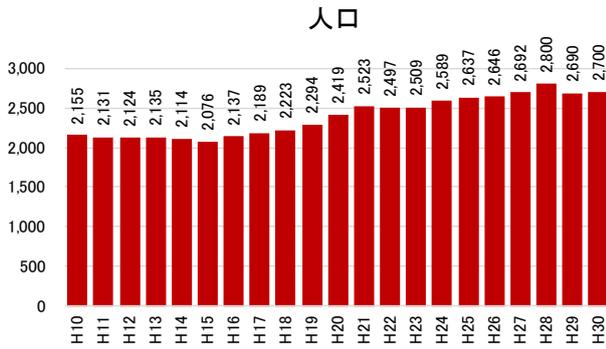
- ・ フォーラム、セミナーの開催
- ・ 協議会の組織強化（会員の勧誘、部会の設置、法人化等）
- ・ エリアマネジメント広告
- ・ ホームページ、SNSの活用
- ・ マップ、リーフレットの作成
- ・ ロゴデザインの作成 等

An aerial photograph of a dense urban area, likely a city center, showing a mix of modern high-rise buildings and older, lower-rise structures. A prominent railway line runs diagonally across the left side, and a multi-lane highway is visible at the bottom. A blue semi-transparent box is overlaid on the top left, containing the Japanese text '資料編' (Ziryō-hen), which translates to 'Reference' or 'Appendix'.

資料編

(1) 暮らし

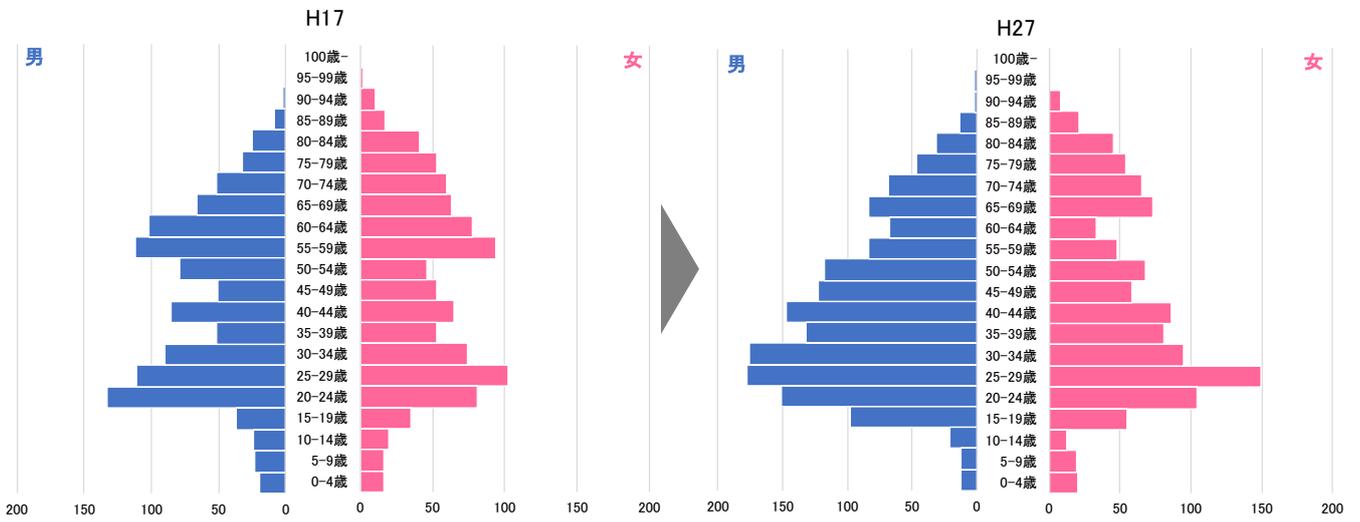
①地区別人口・世帯数の推移



(資料：名古屋市公簿人口、各年10月1日時点)

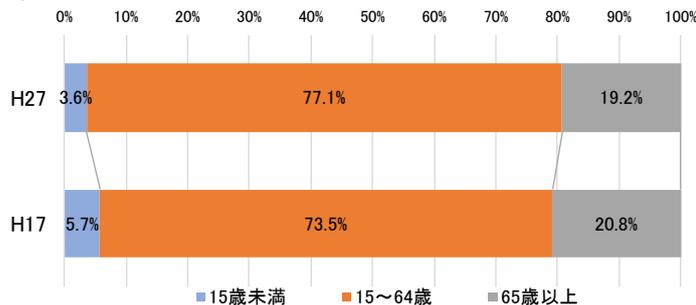
②年齢別人口構成の推移

ア 人口ピラミッド



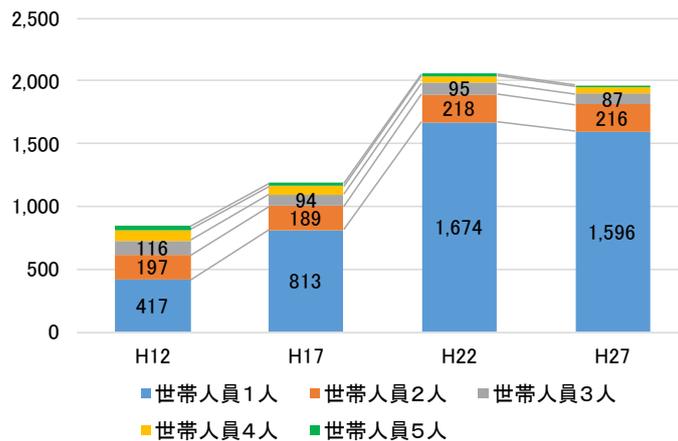
(資料：国勢調査)

イ 年齢構成 (3区分)



(資料：国勢調査)

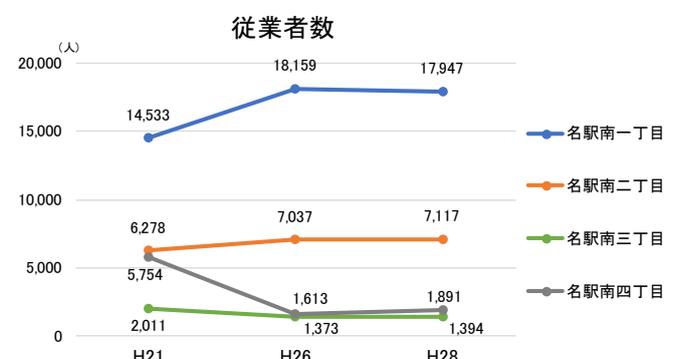
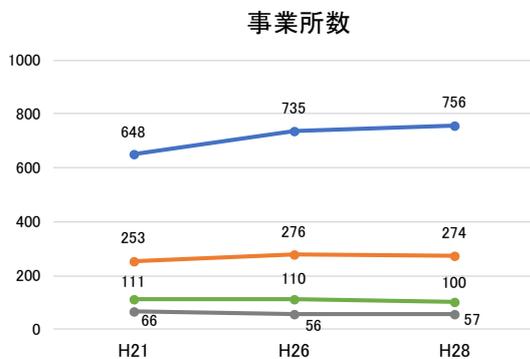
③世帯人員別世帯数の推移



(資料：国勢調査)

(2) ビジネス

①事業所数、従業者数の推移

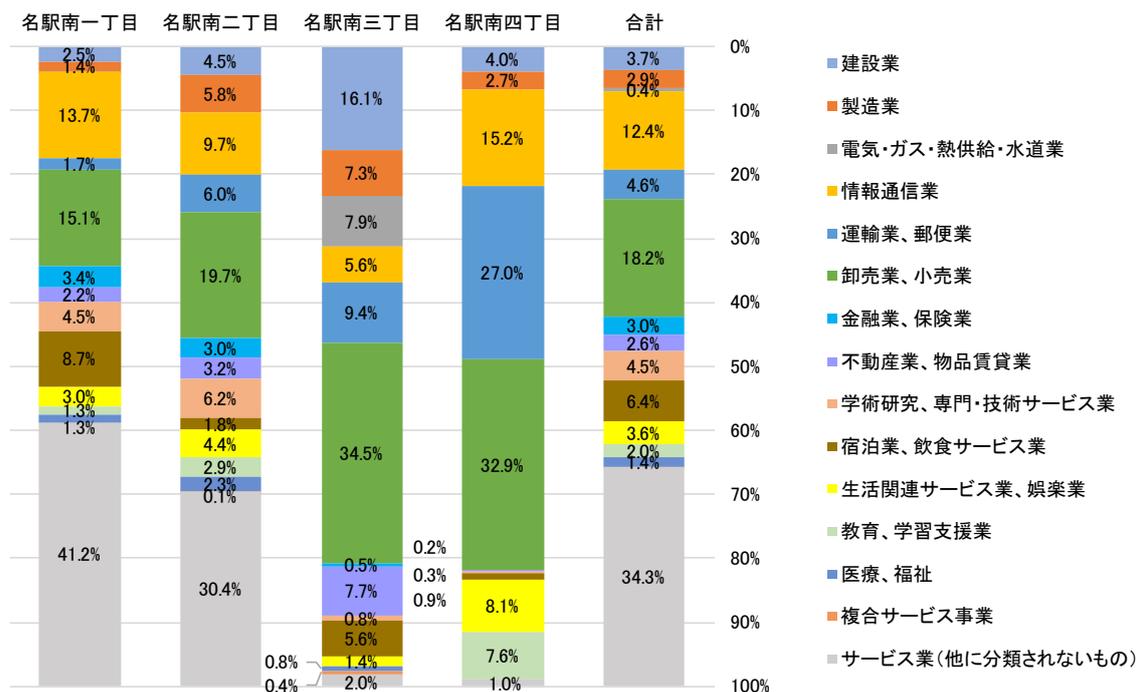


	名駅南一丁目	名駅南二丁目	名駅南三丁目	名駅南四丁目	合計
H28	756	274	100	57	1,187
H26	735	276	110	56	1,177
H21	648	253	111	66	1,078

	名駅南一丁目	名駅南二丁目	名駅南三丁目	名駅南四丁目	合計
H28	17,947	7,117	1,394	1,891	28,349
H26	18,159	7,037	1,373	1,613	28,182
H21	14,533	6,278	2,011	5,754	28,576

(資料：経済センサス基礎調査・活動調査)

②産業分類別従業者数 (H26)



(資料：経済センサス基礎調査)

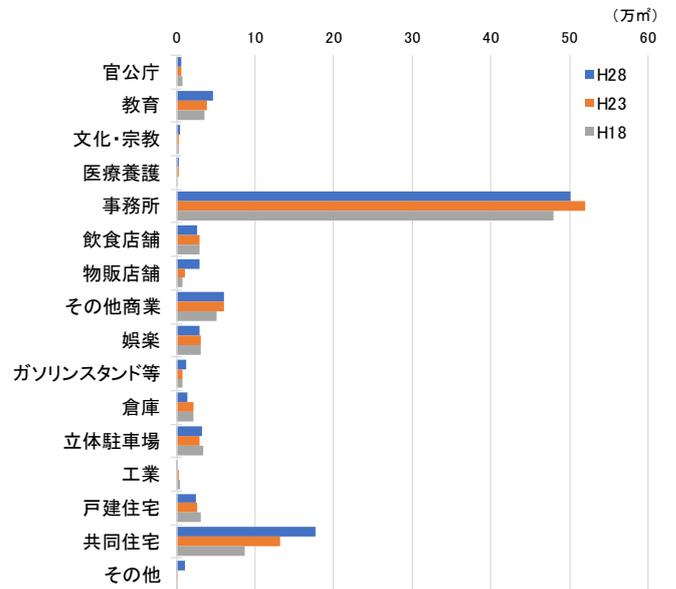
(3) 土地・建物利用

①建物用途

建物主要用途別現況 (H28)



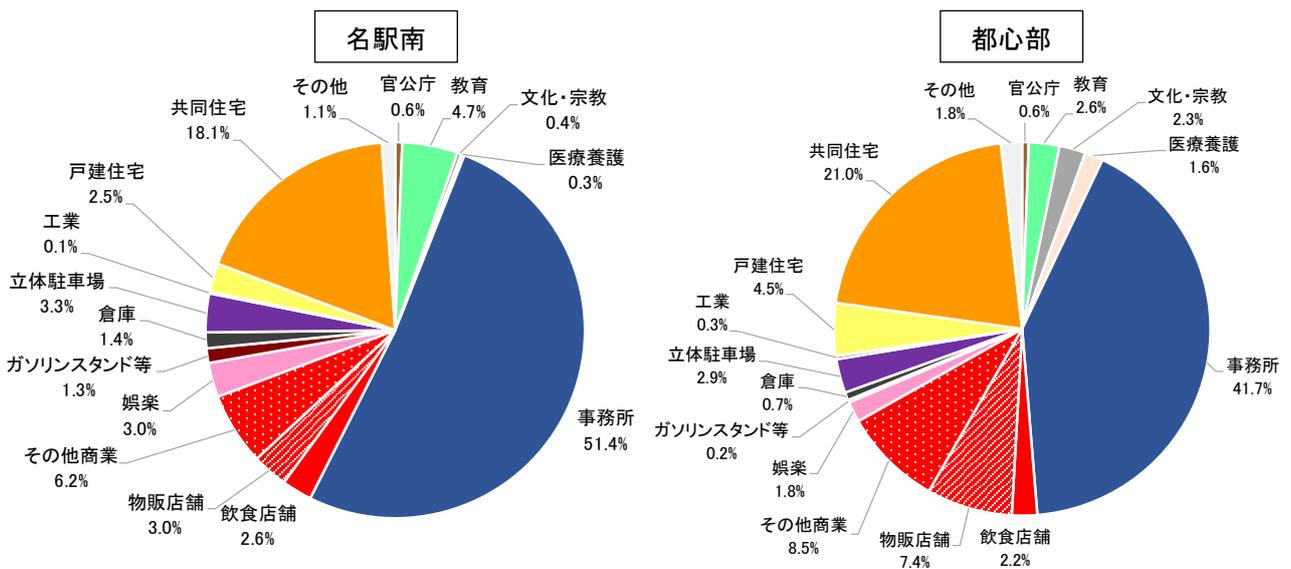
建物主要用途別延床面積※の推移



※延床面積は、主要用途の建築面積×建物階数により単純化して算出しているため、実際の延床面積とは異なる。

(資料：名古屋市都市計画基礎調査)

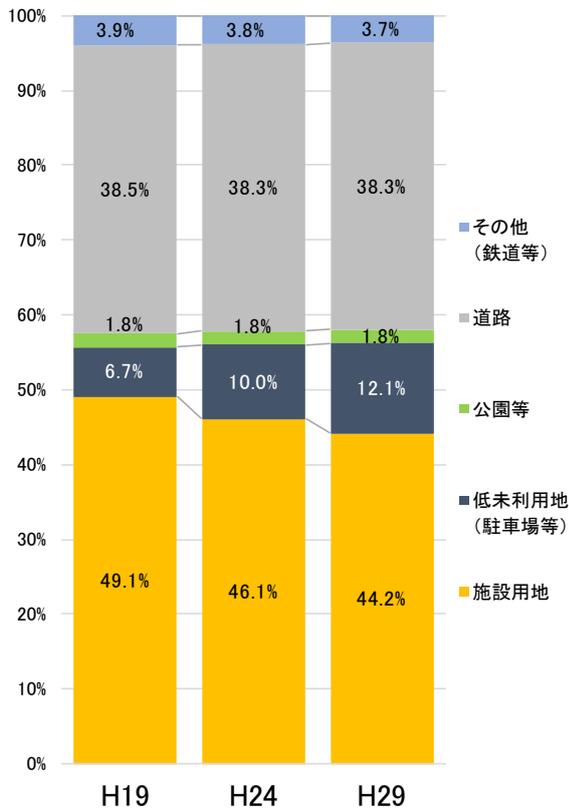
建物主要用途別延床面積構成比 (H28)



(資料：名古屋市都市計画基礎調査)

②土地利用

土地利用の推移



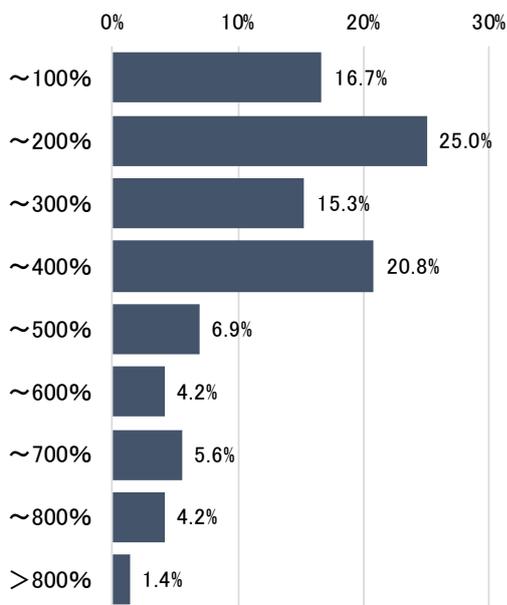
土地利用現況 (H29)



(資料：名古屋市都市計画基礎調査)

③使用容積率

使用容積率別街区数割合 (H28)



街区別使用容積率 (H28)



(資料：名古屋市都市計画基礎調査)

④公園

名称	種別	面積	開園
六反公園	近隣公園(都市計画公園)	約 1.0ha	1949 年
祢宜公園	—	約 0.03ha	1983 年

⑤主要道路幅員・路線名

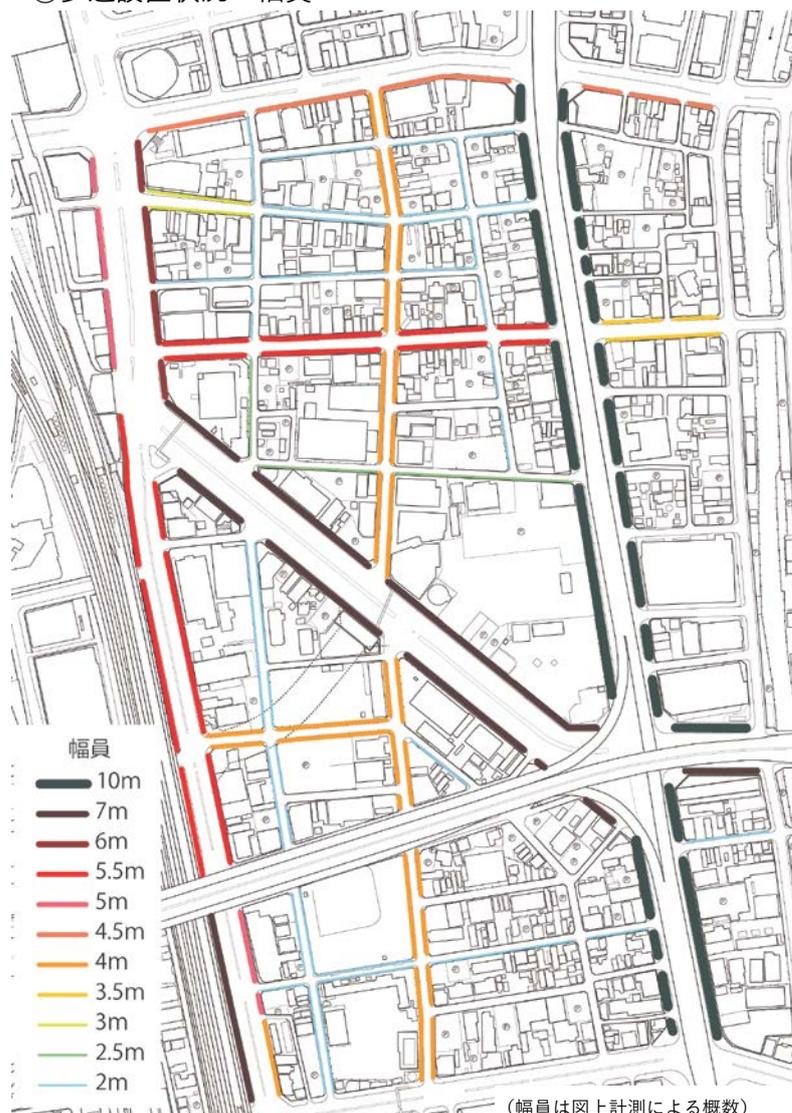
種類	路線名	幅員	備考
市道	祢宜町下笹島線	15.0m	
市道	下笹島町線(三蔵通)	20.0m	
市道	広井町線	50.0m	
県道	中川中村線(江川線)	50.0m	
市道	笹島線	30.0m	延長 200m、未整備
主要地方道	愛知名駅南線(名駅通)	50.0m	広井町交差点以北
主要地方道	山王線(名駅通)	32.5m	広井町交差点以南
主要地方道	名古屋長久手線(広小路通)	30.0m	

⑥路上パーキング位置・数



(下図：H29 名古屋市都市計画基本図)

⑦歩道設置状況・幅員



(幅員は図上計測による概数)

(下図：H29 名古屋市都市計画基本図)

(4) 安全・安心

①地震ハザードマップ

震度（あらゆる可能性を考慮した最大クラス）



液状化（あらゆる可能性を考慮した最大クラス）



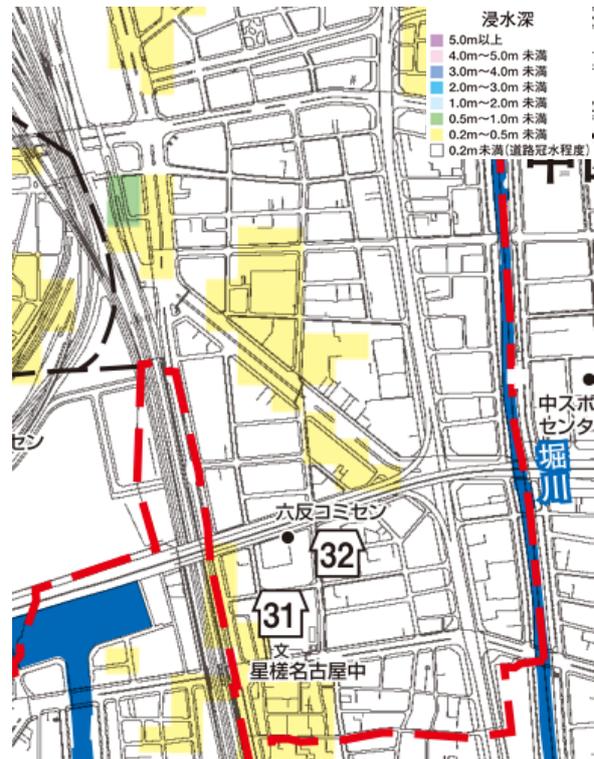
(資料：名古屋地震ハザードマップ)

②浸水ハザードマップ

庄内川・矢田川が氾濫した場合（洪水）



大雨による浸水の場合（内水氾濫）



(資料：名古屋市洪水内水ハザードマップ)

<ビジョン策定の経緯>

年月日	名称	概要
平成 29 年 1 月 27 日	街歩き・第 1 回ワークショップ	地区の魅力・ポテンシャル、課題・改善点を議論。
平成 29 年 6 月 2 日	第 2 回ワークショップ	『私なら名駅南をこんなまちにしたい』10 年後のまちの将来イメージを検討。
平成 29 年 12 月 1 日	第 3 回ワークショップ	『10 年後、名駅南がこんなまちになってほしい』10 年後のまちの将来イメージを分野別に検討。
平成 30 年 2 月 14 日	第 4 回ワークショップ	将来像の優先順位を投票し、重要度を整理。将来像に向けた協議会活動のアイデアを抽出。
平成 30 年 5 月 23 日	第 5 回ワークショップ	通りとゾーンの将来イメージ、まちの将来像キャッチフレーズを検討。
平成 30 年 8 月 29 日	第 1 回まちづくりビジョン検討会	ビジョン骨子案について会員から意見募集
平成 30 年 10 月	地域住民からの意見募集	六反学区連絡協議会での説明（10/13）を通じて、地域住民の方々から意見募集
平成 30 年 12 月 11 日	第 2 回まちづくりビジョン検討会	ビジョンの完成報告
平成 31 年 3 月 11 日 （予定）	まちづくりフォーラム	ビジョンの発表

名駅南地区まちづくりビジョン

平成30年12月 発行

発行者 名駅南地区まちづくり協議会

URL <http://meiekiminami.com/>